

## 令和6年度版 佐賀県キャリア形成卒前支援プロジェクトの策定について

---

1. 令和5年度の学生満足度調査について
2. 令和6年度版 佐賀県キャリア形成卒前支援プロジェクトについて

佐賀県健康福祉部医務課  
医療人材政策室  
令和5年12月19日

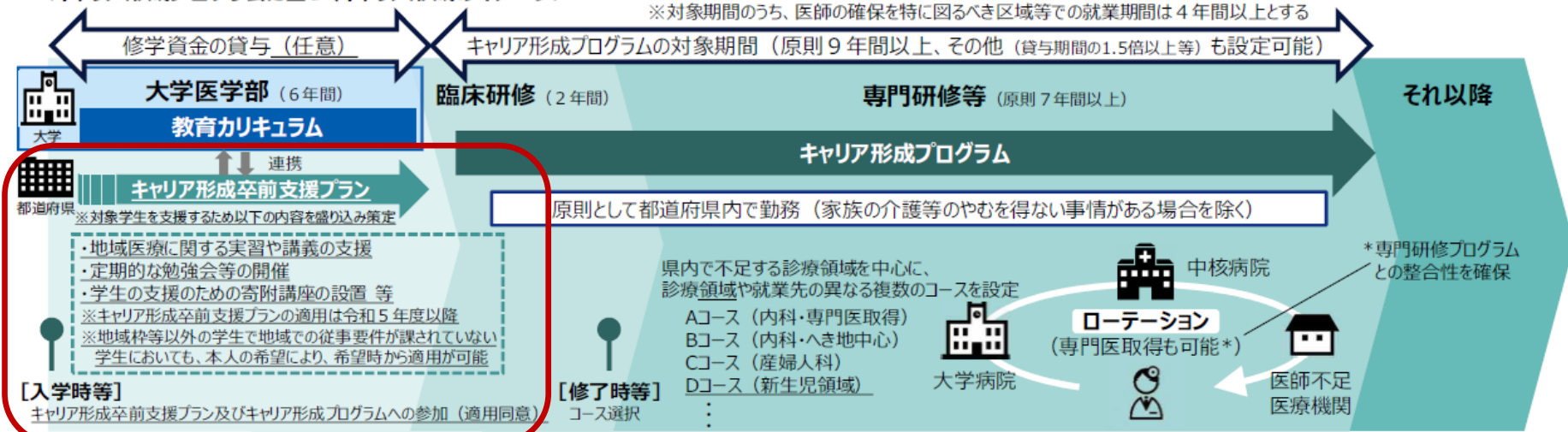
## キャリア形成プログラムについて（改正の内容）

※改正箇所は下線

都道府県は、地域医療対策協議会において協議が調った事項に基づき、「医師不足地域における医師の確保」と「医師不足地域に派遣される医師の能力開発・向上の機会の確保」の両立を目的とするキャリア形成プログラムを策定することとされている

※医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成30年法律第79号）により地域医療支援事務として医療法に明記。キャリア形成プログラムの詳細については、医療法施行規則（省令）及びキャリア形成プログラム運用指針（通知）に規定

### <キャリア形成プログラムに基づくキャリア形成のイメージ>



### <キャリア形成プログラムの対象者>

- ・ 地域枠を卒業した医師
- ・ 地域での従事要件がある地元出身者枠を卒業した医師
- ・ 自治医科大学卒業医師（平成30年度入学者までは任意適用）
- ・ その他プログラムの適用を希望する医師

※キャリア形成プログラムの適用に同意した学生に対しては、修学資金の貸与に地域医療介護総合確保基金の活用が可能

### <キャリア形成プログラムに基づく医師派遣>

大学等による医師派遣との整合性を確保するため、地域医療対策協議会で派遣計画案を協議

※地域医療構想における機能分化・連携の方針との整合性を確保する

※理由なく公立・公的医療機関に偏らないようにする

※都道府県は、医師偏在対策と対象医師のキャリア形成の両立を円滑に推進するため、各地域の医師偏在の状況や対象医師の希望を勘案しつつ、就業先について、大学等の専門医の研修プログラム責任者等との調整を行うとともに、対象学生の支援を行う人材（キャリアコーディネーター）を配置する

※都道府県は、対象医師から満足度等も含む意見聴取を定期的実施し、勤務環境改善・負担軽減を図る

## 対象者の地域定着促進のための方策

### <対象者の納得感の向上と主体的なキャリア形成の支援>

- ・ 都道府県は、対象者の希望に対応したプログラムとなるよう努め、診療科や就業先の異なる複数のコースを設定する
- ・ 都道府県は、コースの設定・見直しに当たって、対象者からの意見を聴き、その内容を公表し反映するよう努める
- ・ 出産、育児等のライフイベントや、大学院進学・海外留学等の希望に配慮するため、プログラムの一時中断を可能とする（中断可能事由は都道府県が設定）

### <プログラム満了前の離脱の防止>

- ・ キャリア形成プログラムは都道府県と対象者との契約関係であり、対象者は満了するよう真摯に努力しなければならないことを通知で明示
- ・ 一時中断中は、中断事由が継続していることを定期的な面談等により確認（中断事由が虚偽の場合は、契約違反となる）
- ・ 都道府県は、キャリア形成プログラムを満了することを、修学資金の返還免除要件とする（家族の介護等のやむを得ない事情がある場合を除く）

## ポイント1：対象者

### ✓ 地域枠以外の学生も広く参加できるものに

偏りなく、対象を「地域枠だけ」にしない

## ポイント2：内容

### ✓ 佐賀県への定着につながるものに

WHOが示した「医師の定着率向上のための介入領域」を踏まえ、プロジェクトを創設

【プロジェクト創設の視点】

A3: 学生のときの地域医療の体験教育

A4: 地域医療の課題に関するカリキュラム

D5: 士気を高め、孤立させないための医師のネットワーク

### ✓ 地域間・診療科間偏在の解消につながるものに

西部医療圏、特定診療科（産婦人科など）での実習機会を設けられないか

## ポイント3：学生主体

### ✓ 学生のニーズを反映し、楽しんで参加できるものに

将来的に学生が主体的に企画に関わる状況を作れないか

# 佐賀県キャリア形成卒前支援プロジェクト内容決定のプロセス

令和4年度第3回  
地域医療対策協議会  
資料（抜粋）

キャリア形成卒前支援プロジェクト内容決定については、県と医師育成定着支援センターで共同し、対象学生へヒアリングを行いながら検討を行う。翌年度のプロジェクト内容について、地域医療対策協議会へ意見聴取を行い、1月頃を目途に次年度プロジェクト内容を確定する。

時期	医師育成定着支援センター	県	地域医療対策協議会
4～11月	プロジェクトの実施	振り返り(対象学生へのヒアリングも実施) 次年度プロジェクト検討 新規プロジェクト内容検討	
12月頃			次年度プロジェクト内容の意見照会
1月頃		次年度プロジェクト内容の確定	
2～3月			次年度プロジェクト内容の報告
4月～		新プロジェクトの実施	

# 1. 令和5年度の学生満足度調査について

---

## 【目的】

毎年度、卒前支援プロジェクト対象者（令和5年度入学者～）に対しプロジェクト内容についての満足度調査を行い、医学生からの意見をプロジェクト内容へ反映していく。

## 【調査対象者】

全 45 名（うち令和5年度入学者9名）

- ・ 佐賀大学佐賀県推薦枠学生 19 名（うち令和5年度入学者4名）
- ・ 長崎大学地域枠学生 12 名（うち令和5年度入学者2名）
- ・ 自治医科大学生 14 名（うち令和5年度入学者3名）

## 【調査項目】

✓ 令和5年度に実施した（実施している） 5 つのプロジェクトについての満足度（令和5年度実施のプロジェクト）

- ① キャリア支援面談、② 地域医療セミナー・キャリア形成セミナー、③ 臨床研修病院バスツアー、④ 基幹病院・中核病院実習、⑤ 夏期地域医療実習

✓ 上記プロジェクトについての意見・コメント等

✓ 今後参加してみたい内容

# 令和5年度の学生満足度調査について

## 【各プロジェクトに対する満足度】

プロジェクト名	回答数	満足度	点数化 (5に近いほど評価良)
①キャリア支援面談	17名	とても満足している 12名 満足している 5名	4.71
②地域医療セミナー・キャリア形成セミナー	4名	とても満足している 3名 満足している 1名	4.75
③臨床研修病院バスツアー	5名	とても満足している 3名 満足している 2名	4.6
④基幹病院・中核病院実習	3名	とても満足している 3名	5.0
⑤夏期地域医療実習	19名	とても満足している 13名 満足している 3名	4.68



【臨床研修病院バスツアーの様子】



【夏期地域医療実習の様子】

# 令和5年度の学生満足度調査について

## 【学生からの声】

(キャリア面談)

- ✓疑問に思っていることや、実習では学べない、将来の医師としてのキャリアの築き方などのお話を伺うことができた。
- ✓医師育成・定着支援センターの先生方や県庁の方とお話できるので、サポートしていただいていると感じられる。

(地域医療セミナー・キャリア形成セミナー)

- ✓実際に地域医療の現場で働かれている先輩方のお話を聴くことで、キャリア形成についてより深く考えることができた。

(臨床研修病院バスツアー)

- ✓将来働くことになるであろう病院を効率よくみることもできたから。また、先輩や県庁の方々とは仲良くなれた。

(基幹病院・中核病院実習)

- ✓行った場所によって様々な経験があったが1年生の間に本当の医療の現場を体験させてもらうということは自分の将来への意識に関わってくるものがあった。

(夏期地域医療実習)

- ✓2泊3日という期間で、地域医療やへき地医療、在宅医療などについて身をもって学ぶことができ、他大学の学生や先生方、県庁の方々とは仲良くなることもできたから。
- ✓今年初めて対面で参加したが、他大学の学生や他学年との交流の機会はあまりないので、嬉しかった。また、離島で実習をみることもでき、離島医療についての具体的に学ぶことができた。

→いずれの取り組みも学生から比較的高い満足度を得ている。  
次年度以降も引き続き上記の取り組みを継続していきたい。



# 令和5年度の学生満足度調査について

## 【今後参加してみたいもの】

項目	回答数 (複数選択可)	次年度プロジェクトへの反映等
臨床研修先の選び方	28名	・キャリア形成セミナーでの説明に加え、勤務先を選ぶヒントとなる情報提供を行う。
専門研修・診療科の概要	20名	・キャリア形成セミナーや各診療分野の講義の中で診療科の紹介を加えられるよう医局と調整する。
県内医療機関の情報	13名	・引き続き、県内医療機関を見学するツアー等を開催する。
県内の若手・中堅医師による勉強会・交流会	8名	・3～4年生を対象とした診療科による勉強会等で、若手・中堅医師と交流できるよう医局と調整する。
他大学の医学生との勉強会・交流会	20名	・現行のイベントの中で他大学同士で関わる仕掛けを継続する。

## 【訪問してみたい医療機関】

※既存のイベントで今年度訪問した医療機関については記載省略。

- ✓ 県内の保健福祉事務所
- ✓ サガハイマツト（九州国際重粒子線がん治療センター）
- ✓ 離島診療所（特に神集島診療所）
- ✓ 佐賀記念病院

訪問したい理由を学生に確認し、大学での実習先や夏期実習先として検討を行う。

## 【ご案内】

YouTubeや医師育成定着支援センターのHPの方へ今年度のイベントの記録を掲載しています。  
以下のQRコードを読み取っていただき、ご覧ください。

(臨床研修病院見学バスツアー)

佐賀県医師・医学生  
キャリア支援サイトHP



YouTube



(夏期地域医療実習)

佐賀県医師・医学生  
キャリア支援サイトHP



YouTube



## 2. 令和6年度版 佐賀県キャリア形成卒前支援プロジェクトについて

---

# 令和6年度版 佐賀県キャリア形成卒前支援プロジェクト（案）

---

佐賀県健康福祉部医務課  
医療人材政策室

佐賀県医師育成・  
定着支援センター

令和6年●月●日

# 佐賀県キャリア形成卒前支援プランの概要

## 1. 目的

- ・地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図る
- ・対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援する

## 2. 対象者

- (1) 地域枠学生／佐賀県医師修学資金等貸与条例に基づき貸与を受けた者  
(令和5年度以降に入学した学生に限る)
- (2) 自治医科大学学生／自治医科大学医学部修学資金貸与規程に基づき貸与を受けた者  
(平成5年度以降に医学部に入学した学生で佐賀県が第1次試験において選抜した者に限る)
- (3) その他、プランの適用を希望する者

## 3. 卒前支援プロジェクト

佐賀県が、佐賀大学医学部に設置した「医師育成・定着支援センター」等と連携しながら、大学6年間を通じて、対象学生が将来従事する地域と接する機会を提供するため、卒前支援プロジェクトを実施する

## 4. 対象期間

入学時又は当該プランへの適用の同意を得たときから卒業時まで

# 佐賀県医師育成・定着支援センター

- ✓ 県内の学生・医師のキャリアコンサルティング等を実施する「佐賀県医師育成・定着支援センター」を佐賀大学医学部に設置
- ✓ 専任医師（キャリアコーディネーター）が学生の入学後の大学生活や卒業後の勤務・キャリア形成を一貫してサポート

## 【場所】

佐賀大学鍋島キャンパス 地域医療支援センター棟2F

【地域医療支援センター（外観）】



※鍋島キャンパス正面入り口を入れてすぐ右側。

## 【キャリア支援サイト】

- ✓ 医師を目指す医学生及び佐賀で働く医師を支援するためのサイトを開設しています！



↑  
こちらから確認いただけます！

## 連絡先

佐賀大学医学部附属病院  
医師育成・定着支援センター

☎0952-34-3467

✉doctor-s@ml.cc.saga-u.ac.jp

# 卒前支援プロジェクトの全体像

【参考】R5年度版（R6年度版では削除）

既存

R5新規（予定）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
個別支援	①【センター／県】キャリア支援面談						
講義勉強会	統合調整	②【大学】地域医療セミナー					
		②【センター】キャリア形成セミナー					
		③【センター】診療科による勉強会					
見学	④【センター／県】臨床研修バスツアー						
実習	【大学】基幹病院・中核病院実習		【センター／県】西部医療圏等での病院実習（調整中）				
	⑤【センター／県】夏期地域医療実習				※参考 【大学】地域医療実習		

既存

R6調整

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
個別支援	①【センター／県】キャリア支援面談					
	②【センター／大学】学外チューター (alumni tutor)					
講義勉強会	③【センター／大学】地域医療セミナー					
	③【センター／大学】キャリア形成セミナー					
	④【センター】診療科による勉強会					
見学	⑤【センター／県】臨床研修バスツアー					
実習	【センター／大学】 基幹病院・中核病院実習					
	⑥【センター／県】夏期地域医療実習					※参考 【大学】地域医療実習
	⑦【センター／大学】西部医療圏等での病院実習					

令和5年度より、②、⑦事業の方実施しているが、令和6年度よりプロジェクト内に正式に追加を行う。



## ①キャリア支援面談

### ○対象

佐賀大学学生、長崎大学学生、自治医科大学学生／1～6年生

### ○開催回数

年1回以上実施（1名あたり）

### ○開催方法

原則、個別で実施

### ○内容

学生生活や将来の進路などについて、キャリアコーディネーターが面談  
必要な助言や支援を実施



キャリア形成プラン			
氏名	〇〇〇〇	コース	A B C
卒業大学	佐賀大学	診療科（基本領域）	小児科
連絡先（TEL）		卒業年	2018年
連絡先（MAIL）		連絡先（MAIL）	
研修年数	9年	研修年数	2030年度まで
専門研修施設・プログラム		〇〇病院、小児科プログラム	
専門研修プログラム管理者 （所属、職名、氏名、連絡先）			
目指す医師像			
年次（研修年）	勤務先病院・診療科名	研修・試験	研修に求めること、 習得したい技能など
2018年	佐賀大学	臨床研修	
2019年	好立産	臨床研修	
2020年（1）	〇〇病院、小児科	専門研修	
2021年（2）	〇〇病院、同上	専門研修	
2022年（3）	〇〇病院、同上	専門研修	
2023年（4）	〇〇病院、同上	専門選試験	
2024年（5）	〇〇病院、小児外科	小児科サスペンデ研修	
2025年（書き）	〇〇病院、小児科	（海外）研修	
2026年（6）	〇〇病院、小児科	小児科専門選試験	
2027年（書き）	〇〇病院	（海外）研修	
2028年（7）	〇〇病院		
2029年（8）	〇〇病院		
2030年（9）	〇〇病院		
20__年度の抱負、指導方針等のコメント			
本人			
専門研修管理者			
キャリアコーディネーター			

面談後に本人が積みたい経験などをまとめた個別のキャリアプランを作成

⇒本人・キャリアコーディネーター・専門研修管理者（入局先決定済の場合）で確認

## ②学外チューター (alumni tutor) 制度

### ○対象

令和5年度以降の佐賀大学生（佐賀県推薦入学生）

### ○チューター

県内の地域医療の最前線で勤務する佐賀大学医学部OB・OG医師  
（R5年10月末時点で2名。）

### ○実施時期

年間を通して実施。

### ○内容

県内の地域医療の最前線で勤務する医師の下で、地域医療見学・実習を行う。  
また、県内医師との繋がりづくりの場とする。



## ③地域医療セミナー/キャリア形成セミナー

### ○対象

佐賀大学学生／1～6年生

⇒プラン同意者だけでなく、全学生が聴講するよう調整

### ○開催回数

年5回程度

### ○開催方法

対面 or オンライン

### ○内容

臨床研修や地域医療に対する理解を深めるためのセミナーを実施

#### [テーマ例]

- ・ 臨床研修病院の選び方  
大学病院、市中病院の研修の違いなど  
⇒行き過ぎた市中病院志向に歯止めを
- ・ 臨床研修後のキャリアイメージ  
診療科選択のポイント など  
⇒理想の医師像を改めて考える機会に
- ・ ワークライフバランス  
⇒ライフプランを考える機会に



## ④診療科による勉強会

### ○対象

佐賀大学学生 / 3～4年生

### ○開催回数

年数回

### ○内容

正規科目（機能・系統別PBL科目※）に合わせ各診療科の勉強会、医局紹介を実施

※学生の6～8名程度の小グループで、臨床的な事例（症例）を検討し、学習課題を自ら設定し、主体的に学ぶ問題基盤型学習科目

⇒診療科への理解を深める（例：小児疾患の学習中に小児科との接点を）

⇒卒後のキャリアをイメージするため、特定診療科（小児科、産婦人科、救急科、麻酔科等）を中心に開催



PhaseⅢのユニット構成とPBL/CBLの実施

Unit 1	地域医療 (PBL& CBL)	Unit 8	運動・感覚器 (CBL)
Unit 2	消化器 (PBL)	Unit 9	精神・神経 (CBL)
Unit 3	呼吸器 (PBL)	Unit10	小児・女性 (PBL)
Unit 4	循環器 (PBL)	Unit11	救急・麻酔 (CBL)
Unit 5	代謝・内分泌・腎・泌尿器 (CBL)	Unit12	社会医学・医療社会法制 (PBL)
Unit 6	血液・腫瘍・感染症 (CBL)	Unit13	臨床入門
Unit 7	皮膚・膠原 (CBL)		

## ⑤臨床研修バスツアー

### ○対象

佐賀大学学生、長崎大学学生、自治医科大学学生／1～5年生

### ○開催回数

年1～2回

### ○内容

複数の基幹型及び協力型研修病院を見学し、各病院が担う役割、特長、研修内容、強みについて知る機会としてバスツアーを実施

### [企画例]

- ・院内見学
- ・研修担当者によるプログラム紹介
- ・現役研修医等との意見交換会

※県外から参加する際の旅費補助制度を創設予定

### ○補助対象者

バスツアーに参加する県外在住医大生

### ○補助率 10/10

### ○上限

九州内：20千円

九州外及び沖縄県：40千円



## ⑥夏期地域医療実習

### ○対象

佐賀大学学生、長崎大学学生、自治医科大学学生／1～4年生

### ○開催回数

年1回、2-3日

### ○内容

3大学合同で開催し、異なる大学の学生間の意見交換・共有の場を設けるとともに、佐賀の医療現場で活躍する医師等について認識を深め、卒後のイメージを掴む

### [企画例]

- ・ 基幹病院、離島・山間部の診療所での実習
- ・ 学生間・現役医師との意見交換会、グループディスカッション



## ⑦西部医療圏等での病院実習

## ○対象

佐賀大学学生 1～6年生

## ○開催回数

年1回、1日

## ○内容

県内で比較的医師が少なく、医師確保が必要な地域（特に西部医療圏）で活躍する医師等についての認識を深めるとともに、地域の魅力について触れるきっかけづくりを行う。

（正規カリキュラム「地域枠入学生特別プログラム」にて実施）

## 〔企画例〕

- ・ 医療機関での実習
- ・ 地域の最前線で働く現役医師との意見交換会、グループディスカッション